

E A 2 1



※2023年3月:岩手事業所
太陽光発電システム設置

2023
環境経営レポート

2023年4月～2024年3月
発行日：2024年5月30日



エコアクション21
認証番号 0013196

目次

	ページ
1. 会社概要	2
2. 対象範囲	2
3. 許可	3
4. 環境経営方針	4
5. 環境活動方針	5
6. 体制・役割・権限	6
7. 環境データ	7
8. 環境経営目標及び結果・評価	8
9. 環境経営計画達成への取組み	9～10
10. コンプライアンス	11
11. コンプライアンス活動	12～13
12. 社内コミュニケーション	14～15
13. 教育・訓練	16～17
14. 活動事例	18～20
15. 社会貢献活動	21～23
16. 代表者による全体評価と見直し・指示	24

1. 会社概要

会社名	株式会社EJサービス
資本金	92百万円
本店所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山4番地18
設立	2015年(平成27年)7月1日
代表者名	取締役社長(代表取締役) 菅野 告
環境統括者	取締役 川口 興志
環境管理責任者	管理部 安全・健康・環境室長 中村 悦郎
URL	http://www.ej-service.co.jp/
従業員数	428名(2024年4月現在)
売上高	7,489百万円(2023年度)

2. 対象範囲

対象範囲	岩手地区・宮城地区・東富士地区(横須賀営業所・相模原出張所) ※山梨事業所(山梨県南アルプス市徳永1500番地)については ISO14001で活動中の為対象外
本店所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山4番地18 Tel: 0197-44-5005 Fax: 0197-44-5006
設立	2015年(平成27年)7月1日
代表者名	取締役 川口 興志
主な事業	トヨタ自動車東日本の建築・土木・設備・電気工事の施工管理 ビル清掃、厚生施設管理、警備、産業廃棄物収集運搬 トヨタ自動車東日本従業員向けの各種保険窓口、旅行代理店業務 売店・自販機および物品販売、住宅メーカーの施工管理

3. 許可

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業許可証 (岩手県)

許可番号 : 00300000627号
許可年月日: 令和 4年12月15日
有効年月日: 令和 9年12月14日
事業の範囲: 収集運搬 (積替え・保管を除く)
廃棄物の種類: 汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類
運搬車両の種類・台数: アームロール車1台

産業廃棄物収集運搬業許可証 (神奈川県)

許可番号 : 01401000627号
許可年月日: 令和 4年 7月 1日
有効年月日: 令和 9年 3月31日
事業の範囲: 収集運搬 (積替え・保管を除く)
廃棄物の種類: 汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
運搬車両の種類・台数: トラック1台

産業廃棄物収集運搬業許可証 (静岡県)

許可番号 : 02201000627号
許可年月日: 令和 3年 3月 1日
有効年月日: 令和 8年 2月28日
事業の範囲: 収集運搬 (積替え・保管を除く)
廃棄物の種類: 汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず
運搬車両の種類・台数: アームロール車1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証 (岩手県)

許可番号 : 00350000627号
許可年月日: 令和 5年 7月12日
有効年月日: 令和10年 7月11日
事業の範囲: 収集運搬 (積替え・保管を除く)
廃棄物の種類: 廃油、廃アルカリ汚泥
運搬車両の種類・台数: トラック1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証 (静岡県)

許可番号 : 02251000627号
許可年月日: 令和 1年11月 2日
有効年月日: 令和 6年11月 1日 ※今年度更新予定
事業の範囲: 収集運搬 (積替え・保管を除く)
廃棄物の種類: 引火性廃油、腐食性廃酸
運搬車両の種類・台数: トラック1台

一般廃棄物処理業許可証 (金ヶ崎町)

許可番号 : 第4-12号
許可年月日: 令和 5年 3月 1日
有効年月日: 令和 7年 2月28日
事業の範囲: 収集・運搬 (積替え・保管除く)
廃棄物の種類: 一般廃棄物 (し尿・浄化槽汚泥除く)
運搬車両の種類・台数: ダンプ1台、2トン車1台

一般廃棄物処理業許可証 (横須賀市)

許可番号 : 34号
許可年月日: 令和 4年10月 1日
有効年月日: 令和 6年 9月30日 ※今年度更新予定
事業の範囲: 一般廃棄物収集運搬 (積替え・保管除く)
廃棄物の種類: 一般廃棄物 (ごみ)
運搬車両の種類・台数: キャブオーバー1台

建設業

建設業許可 (一般)

許可番号 : 国土交通大臣 許可(一般-1)第16672号
許可の有効期限: 令和2年3月20日から令和7年3月19日
建設業の種類 : 造園工事業、消防施設工事業

建設業許可 (特定)

許可番号 : 国土交通大臣 許可(特-1)第16672号
許可の有効期限: 令和2年3月20日から令和7年3月19日
建設業の種類 : 土木工事業、大工工事業、屋根工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、板金工事業
塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業、解体工事業、建築工事業、左官工事業、石工事業
電気工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、しゅんせつ工事業、ガラス工事業
防水工事業、熱絶縁工事業、水道施設工事業、とび、土工事業

4. 環境経営方針

【企業理念】 トヨタ基本理念を踏襲

トヨタ基本理念

1. 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす
2. 各国、各地域の文化・慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
3. クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
4. 様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する
5. 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
6. グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす
7. 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

<1992年1月制定・1997年4月改定>

【環境経営方針】

1. 国や地方自治体などの環境法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
2. 提供する製品やサービスなどを通じ環境負荷低減に貢献します。
3. 温室効果ガスの排出削減に努めます。
4. 廃棄物を低減するため、リデュース・リユース・リサイクル活動を推進します。
5. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境保護活動に貢献します。
6. この環境方針達成のため、環境目的・目標を設定し、定期的に見直し、継続的改善に努めます。

この環境経営方針は、従業員へ周知するとともに利害関係者へ開示します。

制定日：2019年10月1日

改訂日：2021年10月1日

環境統括者：川口 興志

5. 環境活動方針

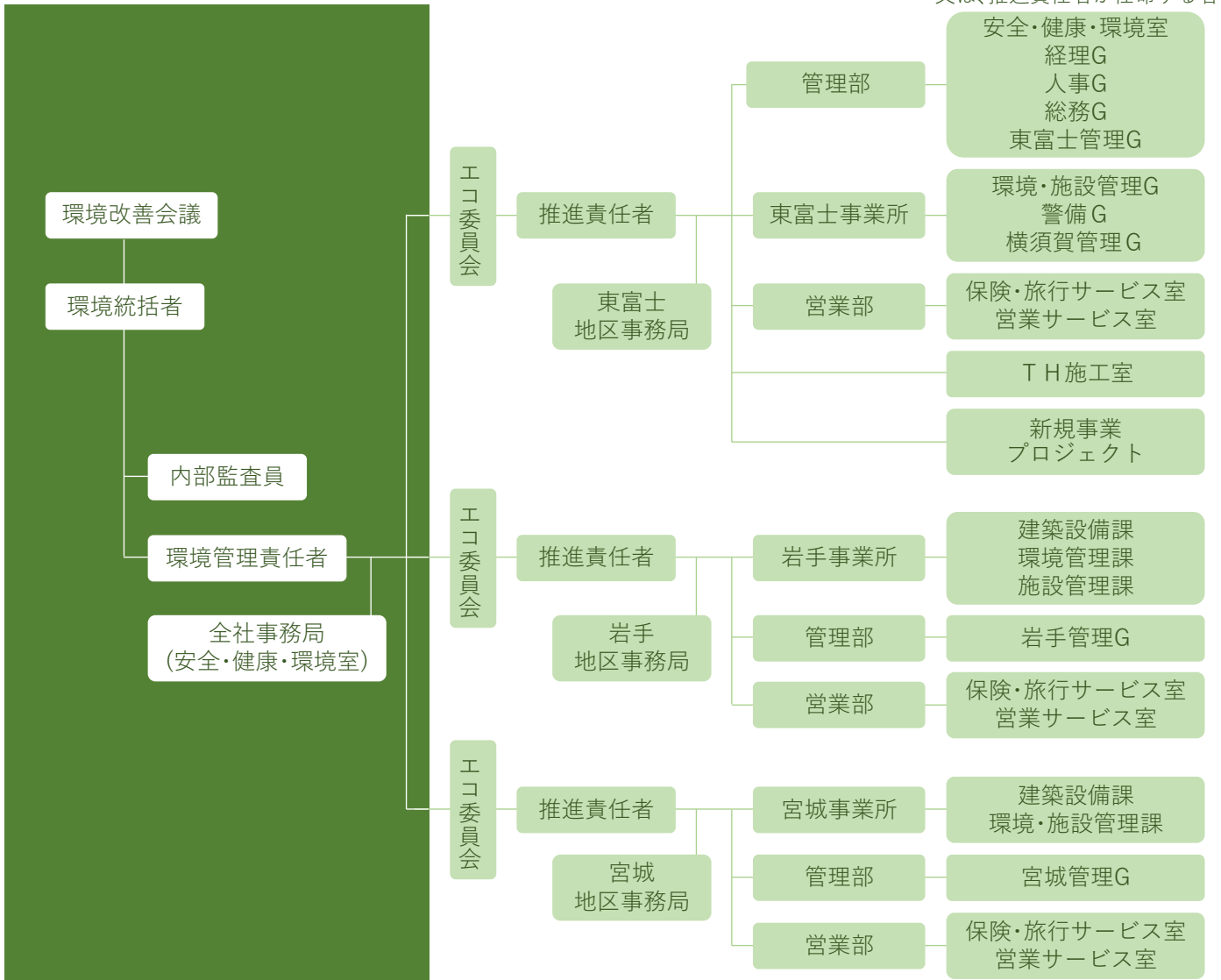


2023年度 環境活動方針



考え方	重点推進事項
<p>コンプライアンス コンプライアンス活動の積上げ</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 環境法令・EA21ガイドライン・環境マネジメントマニュアル標準書等のルール順守状況確認。及び審査対応・各帳票整備 2) 環境パトロールを通じたコミュニケーションによる互い(現場・確認者)の知識・意識向上と異常・苦情の未然防止緊急事態訓練の実施
<p>環境負荷低減 CO2削減・廃棄物ゼロ に向けた取組</p>    	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国際認証制度推進を受け2019年比で2035年迄にCO2排出68%低減を推進 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【2023年度エネルギーCO2排出低減目標】</p> <p>22年度実績:188,000kg-CO2から 4,990kg-CO2低減</p> </div> 2) 本来業務を通じたTMEJへの貢献継続
<p>人材育成 環境担当者・内部監査員の レベルUP</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 各拠点間で社会貢献・各事例・他者情報等を共有し環境推進役としての環境専門知識向上(資格取得等)活動の活性化を図る 2) 内部監査員の新規育成 外部講習活用での教育実施

6. 体制・役割・権限



役割および責任権限	統括者	管理責任者	全社事務局	推進責任者	推進者	地区事務局	内部監査員
適用範囲・活動の明確化	◎						
代表者による経営課題とチャンスの明確化	◎	○	○	○			
環境経営方針の策定	◎						
環境負荷と環境への取組状況の把握および評価				◎	○	○	
環境関連法規などの取りまとめ			◎			○	
環境経営目標及び環境経営計画の策定				○	◎	○	
実施体制の構築	◎			◎			
経営資源の用意	◎						
教育・訓練の実施					◎	◎	
環境コミュニケーションの実施【環境改善会議】		◎	○			○	
環境コミュニケーションの実施【エコ委員会】				◎	○	○	
実施および運用				◎	◎	○	
環境上の緊急事態への準備および対応				○	◎	○	
文書類の作成・管理	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
当事業所状況の確認・評価、ならびに問題の是正および予防		○	◎	○	○	◎	◎
代表者による全体の評価と見直し・指示	◎	○	○	○	○	○	
環境経営レポートの作成および公表と活用	◎	◎	◎			○	

凡例：◎主管・○関連者

7. 環境データ

2023年度実績 (2023年4月～2024年3月)

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※岩)CO2排出係数:0.483	kwh	— ※	— ※	43,947	43,947
	灯油	L	—	—	1,084	1,084
	LPG	kg	— ※	— ※	82	82
	ガソリン	L	20,861	5,309	8,394	34,564
	軽油	L	786	3,461	8,623	12,870
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	49,499	21,321	66,328	137,148
もやすごみ排出量		kg	42	229	17	288
水使用量		m ³	— ※	— ※	260	260
産業廃棄物排出量		kg	1,280	5,659	145,445	152,384
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	263	263
収集運搬量		t	67	0	188	255
化学物質使用量		kg	0	0	420	420

※宮城地区・東富士地区が賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

2022年度実績 (2022年4月～2023年3月)

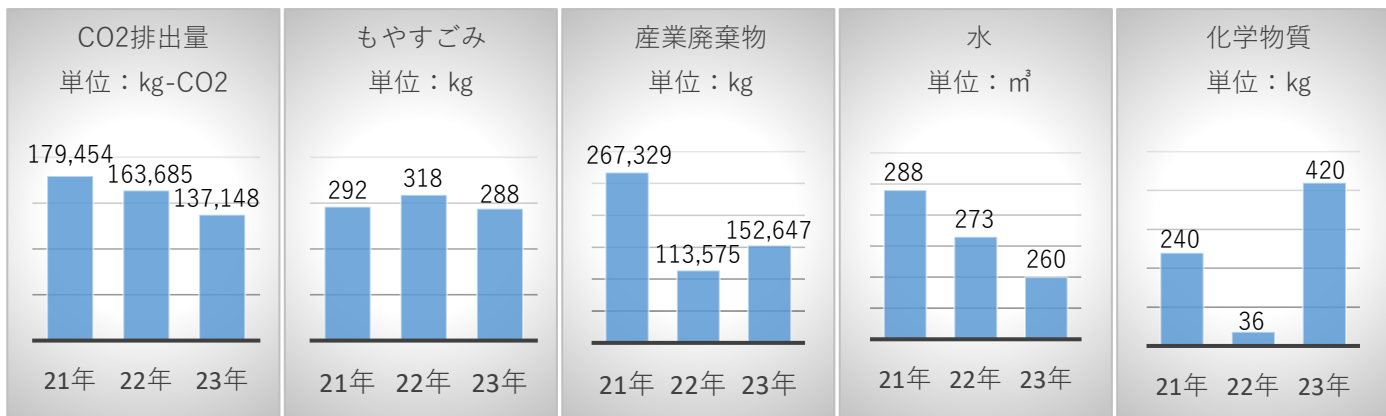
カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※岩)CO2排出係数:0.457	kwh	— ※	— ※	72,675	72,675
	灯油	L	—	—	1,000	1,000
	LPG	kg	— ※	— ※	95	95
	ガソリン	L	17,665	6,517	12,840	37,022
	軽油	L	1,343	2,939	12,002	16,284
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	43,724	22,682	97,279	163,685
もやすごみ排出量		kg	71	228	19	318
水使用量		m ³	— ※	— ※	273	273
産業廃棄物排出量		kg	3,050	8,937	100,797	112,784
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	791	791
収集運搬量		t	55	0	72	127
化学物質使用量		kg	0	0	36	36

※宮城地区・東富士地区が賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

2021年度実績 (2021年4月～2022年3月)

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※岩)CO2排出係数:0.457	kwh	— ※	— ※	86,342	86,342
	灯油	L	0	0	1,510	1,510
	LPG	kg	— ※	— ※	109	109
	ガソリン	L	18,994	5,917	14,808	39,719
	軽油	L	1,691	2,402	12,966	17,059
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	47,673	19,885	111,896	179,454
もやすごみ排出量		kg	45	230	17	292
水使用量		m ³	— ※	— ※	288	288
産業廃棄物排出量		kg	238,380	2,470	25,730	266,580
特別産業廃棄物排出量		kg	0	235	514	749
収集運搬量		t	85	0	158	243
化学物質使用量		kg	0	0	240	240

※宮城地区・東富士地区(2020年11月より)が賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。



8. 環境経営目標及び結果・評価

項目(単位)	年度 目標・実績・評価	2023年度				2024年度		2025年度	
	【基準年度】 実績	目標	実績	評価	基準年比	目標	基準年比	目標	基準年比
電力使用によるCO2削減 (kg-CO2)	75,328	39,439	21,226	○	28%	19,897	26%	19,584	26%
LPG使用によるCO2削減 (kg-CO2)	2,227	218	232	×	10%	232	10%	193	11%
灯油使用によるCO2削減 (kg-CO2)	8,345	4,092	2,730	○	33%	2,730	33%	2,275	27%
車両使用によるCO2削減 (kg-CO2)	156,702	104,992	112,961	×	72%	109,241	70%	105,148	67%
CO2排出量 合計 (kg-CO2)	242,602	148,741	137,148	○	57%	132,100	54%	127,200	70%
もやすごみの削減 (kg)	373	314	260	○	70%	257	69%	255	52%
水使用量の削減 (㎡)	1,371	449	287	○	21%	449	33%	449	33%
産業廃棄物の削減 (kg)	268,724	110,177	152,384	×	57%	150,860	56%	149,336	55%
特別産業廃棄物の削減 (kg)	901	783	263	○	29%	260	28%	258	27%
化学物質使用量の削減 (kg)	71,679	36	420	×	0%	416	0%	412	0%
環境に配慮した収集運搬業務 建設業のサービス改善	環境経営計画達成への各部署具体的取組み内容(事項)								
地域社会とのコミュニケーション 地域環境保護活動	親会社の活動に積極的に協力。地区独自の活動も社内で横展開し オールEJサービスで地域社会に貢献し続ける。								

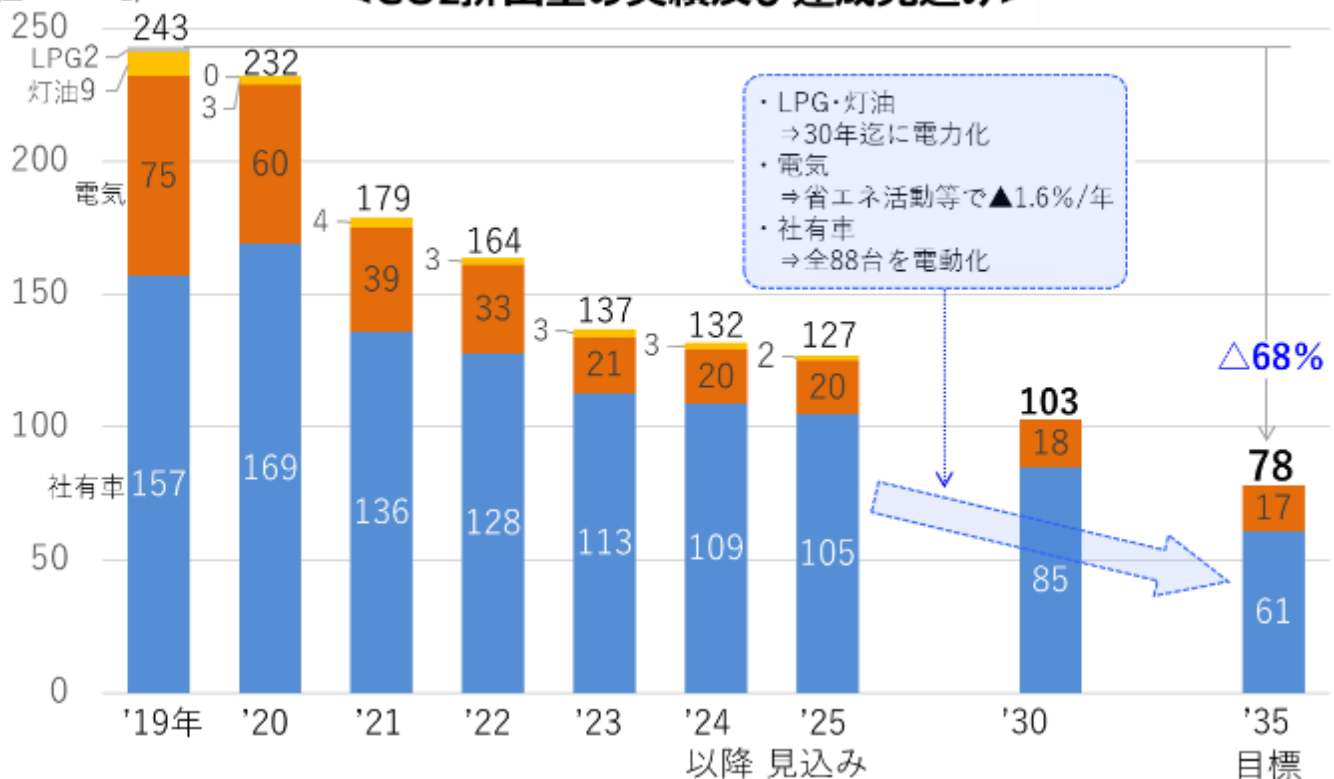
※水使用量の目標値は、親会社の指針により2018年実績とする
 ※特・産業廃棄物、化学物質量は前年比1%ずつ低減

国際認証制度推進に向けた取組 (親会社に同調)

2019年CO2排出量実績から2035年までに68%の削減を目指す

(単位: t -CO2)

<CO2排出量の実績及び達成見込み>



9. 環境経営計画達成への取組み

1) 東富士・横須賀地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
オール 東富士 横須賀	CO2・廃棄物 水使用削減	節電・節ガソリン・節水・3Rに 関する行動を実行する活動 (22項目) ※エネルギー使用量は親会社の使用量に含まれ 把握できない為、3年計画で実行していく 環境行動を決めて活動を実施。	3年計画での目標 ・2021年度 5 以下 / 1 人 ・2022年度 4 以下 / 1 人 ・ 2023年度 3 以下 / 1 人 実行出来なかった項目数 目標2,793個以下	482個	○
	CO2排出低減	上記の結果として、社有車使用での CO2排出低減を目指す。 但し、目標値は努力目標とする。	ガソリン低減量 前年比99.3%以下	99.7%	×
管理G		可燃ごみ分別での廃棄物削減による CO2排出低減	低減量 8.7g-CO2以上 (有価物量 194g以上)	9.1g-CO2 (有価物量 202g)	○
環境 施設管理 G	水使用量低減	清掃作業後のタオル等洗濯回数 見直しによる水使用量低減	水使用量 約32kℓ 以下	21.3kℓ	○
	本来業務での 環境活動	収集運搬車両からの積荷飛散防止 作動油漏洩予防点検 (日常管理)	点検実施率 100%	100%	○
警備 G		警備区域から敷地外への 油流出を警備の視点で予防	発見時対応 100% (油流出:無し)	100%	○
安全・健康 環境室	室員の 環境意識向上	環境パトロールを通じた 未然防止活動	気付き改善率 100%	95% ※'24.6月完了予定	×
		環境トレンドをキャッチし 輪番制で室員に展開する	実施率 100%	100%	○
経理G		在宅勤務推進による通勤に伴う CO2排出低減	通勤時走行距離 1,526km以上低減	2,871km	○
人事G	CO2排出低減	社内帳票電子化による 紙使用量の低減(CO2排出低減)	電子化率 61%以上	60.4% ※'24計画に織込む	×
総務G		社内帳票電子化による 紙使用量の低減(CO2排出低減)	電子化率 30%以上	29.3% ※'24.4月完了	×
営業 サービス室		業務改善提案によるCO2低減	業務改善提案 11件以上	11件	○
保険・旅行 サービス室		保険更改手続きのWeb化による 紙資源の低減	Web手続き率 40%以上	48.9%	○
T H 施工室	廃棄物削減	販売店施工現場の混合廃棄物の 混合率を下げる	混合率 20%以下	13.8%	○

9. 環境経営計画達成への取組み

2) 岩手地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
管理G	CO2低減	事業所の夜間電力削減 ・夜間の待機電力洗出し ・支障のない電源OFF	対前年比16.4kg-CO2低減 年間排出量 31.5kg-CO2以下	31.5kg-CO2	○
建築設備課		客先・自らの効率化に寄与する提案 ・見積時のVE/CO2排出低減 ・省エネ機材の提案 ・自らの作業の効率化を図る 作業改善・原価低減提案	低減量 3,619kg-CO2以上	4,713kg-CO2	○
環境管理課		車両燃費向上によるCO2排出低減 ・運転の仕方、積荷低減 こまめな点検等による燃費向上	対前年比5%向上 車両燃費 8.41km/L以上	8.48km/L	○
	本来業務での 環境活動	収集運搬車両からの積荷飛散防止 作動油漏洩予防点検（日常管理）	点検実施率 100%	100%	○
施設管理課	CO2低減	車両ガソリン使用低減 ・運転の仕方、積荷低減 給油方法見直しによる低減	対前年比7%低減 ガソリン低減 385L以上	263L	×
営業 サービス室		PC電力カットによるCO2排出低減 ・ピーク時にコンセントを抜く	低減量 31.36kg-CO2以上	31.36kg-CO2	○
保険・旅行 サービス室		自動車保険更改手続きの電子化 ・紙使用低減	対前年比43.5%UP 電子化率 70%以上	62.7%	×

3) 宮城地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
オール宮城	CO2低減	年休12日/人・年 取得による 通勤車両のCO2低減	取得日数 686日以上	892日	○
		「私の環境行動」 エネルギー削減・節水・3Rに関する 活動の実施（22項目） ※エネルギー使用量は親会社の使用量に含まれ 把握できない為、3年計画で実行していく 環境行動を決めて活動を実施。	3年計画での目標 ・2023年度:5以下/1人 ・2024年度:4以下/1人 ・2025年度:3以下/1人 ・2023年度目標 3,465個以下/63人 (※5月より活動開始)	463個	○

10. コンプライアンス

適用法令と順守状況

1) 違反・苦情の発生状況

- ①TMEJ須山工場 浄化槽オーバーフロー(ヒヤリ) ⇒ 異常に気付きバキューム対応して未然防止を図る
- ②岩手事業所 浄化槽ph下限異常 ⇒ 業者へ調整剤投与を依頼 ⇒ 基準値範囲に収まった事を町へ報告済

2) 適用法令及びその順守状況の結果等

法令等の名称	対象設備・役務等	確認月	確認結果
家電リサイクル法	エアコン・TV・冷蔵冷凍庫・洗濯機衣類乾燥機	実績なし	
建設リサイクル法	建設工事・解体工事	実績なし	
自動車リサイクル法	社有車	実績なし	
廃棄物処理法			
収集運搬処理業	許可証 契約書類締結 収集運搬車両に係る表示 携帯義務確認	'24.2月・3月	適合
排出事業者	保管状況 マニフェスト保管 契約書類締結 年間排出量の報告	'24.2月・3月	適合
フロン排出抑制法	東富士・宮城・岩手地区売店の 冷蔵ケース・冷凍ケース	'24.2月・3月	適合
騒音・振動規制法	岩手事業所コンプレッサー・シャーリング	'24.2月・3月	適合
消防法	岩手事業所少量危険物貯蔵取扱所	'24.2月・3月	適合
浄化槽法	岩手事業所浄化槽	'24.2月・3月	適合
条令	産業廃棄物に関する条例 委託先調査の実施	'24.2月・3月	適合

確認方法：順守項目はチェックリストにより確認しています。

1 1. コンプライアンス活動

1) 内部監査

2月・3月に東富士、岩手、宮城地区 内部監査を23年度新監査員の新たな視点で実施。

—	東富士地区	岩手地区	宮城地区
指摘事項	0件	0件	0件
気付き事項	5件	7件	4件

気付き事項の主な内容

- ①各種書類の整合・指定様式への記載
- ②緊急事態訓練実施後の自部署への展開訓練の為に標準書・マニュアルを評価
- ③エコステーション内、飛散・漏洩防止対策
- ④各所掲示物の最新情報掲載
- ⑤不明設置物の見える化(表示)

2) 環境パトロール

見過ごしているリスクの発見、法令・ルールへの順守状況確認等
 現地現物で異常・苦情の未然防止活動を計画的に実施しています。

エコステーションの保管・美化・分別状況及び
 掲示内容と保管量の整合等を現地現物で確認

各保管庫内備品の内容物の見える化
 最新のSDS保管状況を確認



3) CSRミーティング

時節に合ったテーマで各部署毎に話し合うスタイルで実施しています。
【事例】 地球の現状・カーボンニュートラルについて話し合った6月(環境月間)の資料を紹介します。

1 1. コンプライアンス活動

4) 保有設備の確実な法令点検 (岩手地区)

リストを作成し、進捗管理をする事で、抜け漏れなく点検する事で、法令順守する。

(画像の作業リストは年度計画 2023年度)

点検対象の名称	メーカー	数量	点検時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浄化槽点検	浄化槽株式会社	浄化槽	2023.04	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
電気設備点検	電気設備株式会社	電気設備	2023.05	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エレベーター点検	エレベーター株式会社	エレベーター	2023.06	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
空調設備点検	空調設備株式会社	空調設備	2023.07	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガス設備点検	ガス設備株式会社	ガス設備	2023.08	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
消防設備点検	消防設備株式会社	消防設備	2023.09	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
防犯設備点検	防犯設備株式会社	防犯設備	2023.10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
防災設備点検	防災設備株式会社	防災設備	2023.11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
衛生設備点検	衛生設備株式会社	衛生設備	2023.12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
その他	その他	その他	2024.01	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

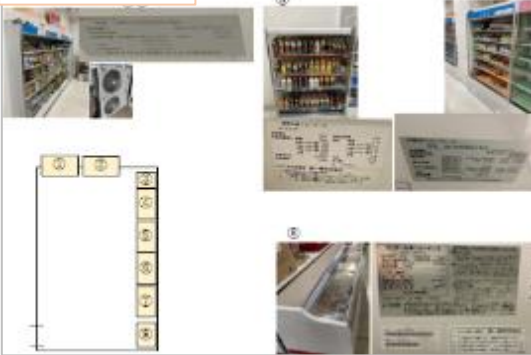


浄化槽保守点検記録

5) 積極的な冷蔵機器の点検 (各地区営業サービス室)

親会社の従業員向け売場に設置している冷蔵冷凍機器に対してフロン排出抑制法に基づく簡易点検を毎月実施する事で、フロン漏洩の未然防止に繋げると共にフィルター清掃・霜取りを積極的に行い、機器のパフォーマンス向上によるCO2排出低減に努めています。

機器レイアウト



点検表

点検項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 冷蔵機器の点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2. フィルター清掃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3. フロン充填確認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4. 霜取り実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



レイアウトに基づき、1台ずつ点検・フィルター清掃等を実施

6) 警備業務を通じた敷地外漏洩未然防止活動 (東富士地区)

受託した警備区域では、巡回業務に環境目線を取り入れて、漏洩の早期発見に努め敷地外への漏洩を未然防止すると共に、お客様のコンプライアンスに寄与する活動を行っています。

見逃しの無いよう作業標準書に落とし込みチェックリストで確認

総合センター巡回チェックシート (依日)													巡回点検実施日: 2024年 2月 25日 (日)		担当: []	確認: []
※ 点検方法: 歩行時及び歩行時を多行し、「5番」にてチェックする																
※ 点検項目: 点検、正常=○、異常=× (内容は標準書へ記入)、検査済は◎																
※ 点検実施日: []																
項目	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

12. 社内コミュニケーション

1) エコ委員会

(東富士・横須賀地区事例)

各部署 環境負荷低減活動状況・環境データを共有。持ち回りで環境ネタを紹介し
新たな発見(気付き)・疑問を話し、世の中の環境問題への意識向上に繋がっています。

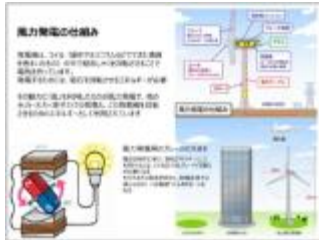
(トレンド事例)

【4月 電気の作り方】

【7月 環境関係の資格】

【10月 イーター計画】

【3月 アルプス処理水】



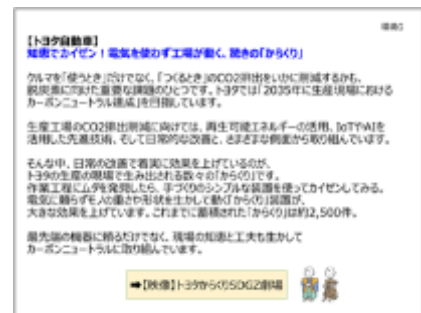
(岩手地区事例)

23年3月に設置した太陽光発電システムと9月に導入したプリウスPHVの有効活用について特に皆で話し、PDCAを回しながらCO2排出低減活動に努めました。
再生エネルギー・革新技術導入により、大幅なCO2排出低減に寄与できました。また電力の見える化により新たな課題が見えてきたので、引続き全員参加でCN達成に向けチャレンジ中です。



(宮城地区事例)

毎月の活動進捗状況・活動結果 その他 環境に関する情報を共有。
今年度より環境に関する話題を各室課持ち回りで発表し、意識の向上に取り組んでいます。



環境活動 進捗状況を共有

「環境トレンド」で環境への意識を向上

12. 社内コミュニケーション

2) 環境改善会議

年度方針の伝達、各部署活動報告、計画進捗状況のレビュー・指示、法令改正の解説・伝達
良い提案の展開等、四半期に一度開催する会議。

6月

1. 前回会議の展開状況
2. 環境データ確認
3. 環境活動方針展開状況
※環境パトロール結果確認含む
4. EA21中間審査状況
5. まとめ

9月

1. 前回会議の展開状況
2. 環境活動方針年央確認
※環境パトロール結果確認
環境データ確認含む
3. まとめ

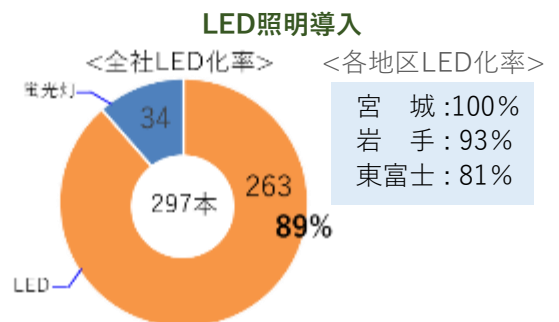
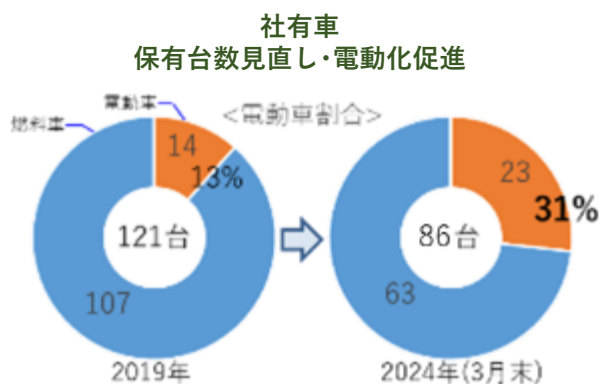
12月

1. 前回会議の展開状況
2. 環境活動方針展開状況
※環境パトロール結果確認
環境データ確認含む
3. まとめ

'24年3月

1. 前回会議の展開状況
2. 環境活動方針年度末確認
※環境パトロール結果確認
環境データ確認含む
3. 24年度 環境活動方針
推進計画確認
4. まとめ

カーボンニュートラル推進の為、会議内で議論を重ね、計画立し活動を進めています



岩手県 早池峰発電所と「TAGA」電力供給契約締結

「TAGA」 = 一般社団法人
東北自動車産業グリーンエネルギー普及協会
(TMEJ・EJサービス・金ヶ崎町・北上市・花巻市 参画)

水力発電 最大出力は1,400kwあり、'24年4月から電力供給が開始
一部TMEJ岩手工場で使用し、将来EJサービス岩手事業所でも
利用できるよう進めていく予定



13. 教育・訓練

1) 新入社員・受入教育

新入社員3名に、「地球温暖化」「海洋プラスチック問題」の現状を知ってもらい会社・プライベートで自分に何ができるか考えてもらいました。
CN・環境負荷低減の当社の取組みを紹介し、皆で協力して進めていく事を理解してもらいました。



受入教育



入社時、環境教育内容

- ・世界で起きている異常気象 (温暖化・豪雨 他)
- ・SDG'sについて
- ・カーボンニュートラルについて
- ・先進国・各企業の動向と取組み
- ・トヨタ自動車/トヨタ自動車東日本の取組み
- ・エコアクション21とは
- ・EJサービスの取組み(貢献活動・目標と実績 他)
- ・自分にできる省エネ活動
- ・理解度チェック

2) 化学物質教育

法改正内容を中心、正しい知識を修得

※教育資料を一部抜粋

化学物質の新たな法改正について

THE化学会 毒物科 毒物科

1. 主旨：安衛法の改正により、化学物質に対する法規制(管理体系)を見直し(国による個別規制から、事業者が自律的な対策を判断する法体系へ見直し)
2. 背景：- 化学物質による労働災害のうち個別規制外が約8割(法改正が及んでいない)
- グローバル対応(海外では白濁の管理が国際的なスタンダード)
3. 施行：2023年4月より段階的に施行
4. 内容：- 危険有害性のある化学物質を拡大(GHS分類より2900物質へ、従来は674物質)
⇒ リスクアセスメント対象物への暴露低減対策、作業記録、健康診断等
⇒ 皮膚・眼等への障害防止のため適切な保護具の着用を義務付け
- 化学物質管理体制の確立(化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選任義務)

厚労省リーフレットより

実施状況

4月以降、がん原生物質、暴露濃度基準設定物質等の告示が展開されてきており各拠点と対応中。
(例：がん原生物質の対象物の調査、作業記録)

労務室へ確認・相談した所、製造者による通知が必要ではなく(努力義務)
全体確認を進めるため、P.E. 係(化学物質管理システム)、ものづくり相互関係(取組先へ確認)にも協力して調査実施。

化学物質の新たな法改正について

THE化学会 毒物科 毒物科

従来まで

- ① 特定の化学物質に対して法令で個別規制
法令) 有機溶剤中毒予防規則
特定化学物質等障害予防規則
粉塵障害予防規則 etc.
規制) 局所排気設備、作業主任者、保護具、特殊健康診断 etc.
- ② 危険性・有害性に関する情報(SDSに記載されている成分)
674物質(その内、個別規制123物質)

直近の告示等

- ① がん原生物質 (122物質、翌年27物質追加)
- ② 暴露濃度基準設定物質 (67物質)
- ③ 皮膚等障害化学物質 (未定)

今後

危険性・有害性が確認された全ての化学物質に対してSDS等で伝達(国が定める管理基準の達成、または暴露濃度をなすべく低減する措置を講じる義務)
事業者毎に化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選任義務
達成する手段は事業者が判断する

GHS(国際的な分類)をもとに危険性・有害性が確認された物質として約2900物質に段階的に拡大

SDSに記載すべき内容も拡充
SDSの更新義務・公布方法の緩和
2023.1.5公示、4月から施行
2023.4.27公示、来年から施行

作業記録、保護具、個人ばく露測定、健康診断等が必要

※ 事前情報・周知が少ないうえに国から次々に展開されている状況(労務室も情報が少ない)の事

13. 教育・訓練

3) 緊急事態訓練 (東富士地区)

スピルキッド・社有車に備置している吸着シートの保管場所を確認。社有車からの油漏れを想定した訓練を作業標準書を基に実施し備品の使用方法、緊急時の行動を確認しました。
参加できなかったメンバーに対して、各部署教育を行い、全員で緊急時対応方法を共有しました。
(作業標準書の誤表記をその場で皆で確認・修正(改訂)し作業標準書の有効性を確認できた)

<訓練の様子>



スピルキッド保管場所・使用方法確認



油漏れを想定した訓練実施



全メンバーで緊急事態対応方法を共有

4) 緊急事態訓練 (岩手地区)

地震発生に伴う停電を想定し、浄化槽エアブローアーマーターを復旧する緊急事態訓練を実施。
作業標準書よるの基に訓練を実施し、作業標準書の有効性・改訂の必要が無い事を確認する事ができました。

<訓練の様子>



2019年 8月 20日	
実施部署	
担当	主任
教育名	浄化槽エアブローアーマーターの復旧
実施日時	24日 15時 30分 ~ 16時 30分
講師	神下孝英 備内
教育内容	緊急事態発生時の対応、復旧の要領、安全確認の要領
教育結果	1) 出席状況、理解状況 2) 浄化槽エアブローアーマーターの復旧 3) 復旧作業の要領、安全確認の要領、復旧作業の要領、復旧作業の要領 4) 手順に従って復旧作業を実施 5) 復旧作業の要領、安全確認の要領 6) エアブローアーマーターが動いている事を確認、(確認方法、記録等) 7) 復旧作業の要領、安全確認の要領、復旧作業の要領、復旧作業の要領 8) 復旧作業の要領、安全確認の要領、復旧作業の要領、復旧作業の要領

5) 緊急事態訓練 (宮城地区)

社有車から油が漏洩したことを想定し、訓練実施。
作業標準書の内容で対応し、手順が適正か評価を行いました。

訓練終了後、追加検討事項の有無を確認。
作業標準書の有効性・改訂の必要が無い事を皆で確認しました。

<訓練の様子>



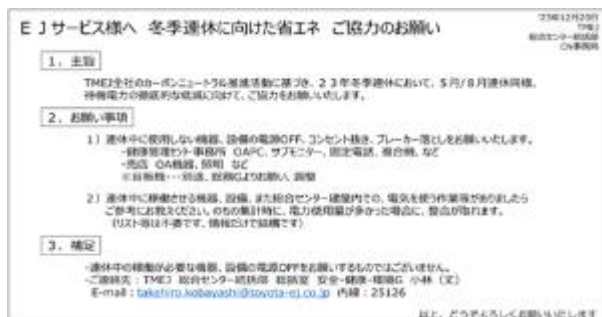
作業標準書	
作業名	油漏れ時の対応
実施日時	
講師	
教育内容	
教育結果	

1 4. 活動事例 (東富士・横須賀地区)

1) CO2削減の取組み (夏の節電 ゴーヤカーテン)

非稼働中電力ゼロの取組み

春・夏・冬期連休中に加え、スイッチ付コンセントタップを活用した非稼働中の電力を切る取組みを実施しCO2低減を図りました。



退社時、コンセントスイッチOFF

ゴーヤカーテンによる夏の節電

夏の暑さを和らげ、エアコンの稼働を抑える事でCO2削減に貢献したい思いでベランダにゴーヤカーテンを作り、環境意識を高めました。



1日目



20日目



夏 本番

2) 本来業務での環境負荷低減活動

《保険:契約書類のWeb化》



22年度実績:35%

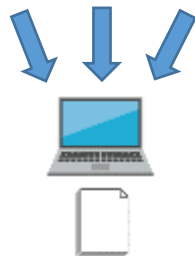


web手続

23年度績:49%
効果:○14%(紙使用低減)

《営業:請求書集約》

3拠点で請求書を4回/月 発行



PC内共有フォルダ管理に変更
3拠点分を1つに纏める
効果:0.2kg-CO2/月低減
(印刷時電力・紙使用低減)

《清掃:洗濯回数見直し》

清掃で使用した備品を
2回/日洗濯



22年度実績 約64kℓ/年



1回/日に纏めて洗濯実施
効果:23年度実績 約21kℓ/年
43kℓ/年低減
(水使用低減)

1 4. 活動事例 (岩手地区)

1) 地球にやさしい環境活動

岩手事業所

「いわて地球にやさしい事業所」認定★4を獲得



最高★★★★

EJサービス岩手事業所環境に関する取組みが県に評価され最高ランクの★4を獲得した。

主な活動として、太陽光パネル導入、電気自動車や緑のカーテン(ゴーヤ)、従業員の環境提案による自作の室外機カバーなど、従業員一丸となって取り組んでいる。

地元の新聞に大きく掲載されました。



認定式にて表彰を受ける佐藤所長(左)

県のHPにも記載



認定を取得すると様々な特権が与えられ、それらを活かし更なる活動へ繋げて行く。

企業アピール



認定書は来客から見える位置に掲示

1 4. 活動事例 (宮城地区)

1) 待機電力削減活動によるCO2削減の取組

事務所内のCO2削減に取り組む為、待機電力削減活動をスタート。
電源タップをスイッチ付きに変更し、帰宅時にスイッチオフの呼び掛けを実施。



PC使用台数：39台
 PC1台の待機電力：約0.2 w/h
 排出係数：0.439Kg-CO2/Kw
年間削減量：約18.49Kg-CO2

2) お客様への提案活動

《ブース清掃時の塗料粕回収作業改善》

塗料粕を廃棄するまでの工程にかかる作業と、土嚢袋削減を提案。

before



回収した塗料粕を土嚢袋に入れ、乾燥の為にグレーチングに運搬。乾燥後、フレコンバックに移して廃棄していた。

after



底面排水バルブ付きのフレコンバック専用代車を設計、協力会社と製作。土嚢袋を使用せず、直接塗料粕をフレコンバックに回収、そのまま水切・廃棄する方法に変更。客先作業低減、土嚢袋使用を無くす事ができた。

土嚢袋：約 550枚/年 (50枚/月×11ヵ月)
年間削減量：約 4,675 kg-CO2/年

* 23年5月～3月迄の実績
 * 焼却処分の際に発生するCO2を削減(推定1袋約8.5kg)で算出

15. 社会貢献活動 (東富士・横須賀地区)

1) フードドライブ

家庭に眠っている食料を集め、フードバンクに寄付する活動を実施しました。



※横須賀地区からも寄贈



※裾野市社会福祉協議会へ寄贈

2) きってきっぺ活動

使用済きってを収集・寄贈し、JOCS(公共社団法人 青年海外協力協会)の活動に協力しました。



社内だけでなく、家庭からの収集も



※宮城事業所から横展

3) ボトルキャップ収集活動

ペットボトルキャップ収集による寄付活動 推進

ペットボトルのキャップを集めています

回収方法

回収場所

回収期間

回収料

回収料は、回収したキャップの総重量に、約1kg500gが換算され、2人の子供の給食が買えます。

正しくキャップ運動にご参加ください!

正しいキャップ運動のやりかたはこちらをご覧ください。

正しいキャップ運動のやりかたはこちらをご覧ください。



※裾野市商工会主催
NPO法人エコキャップ推進協会へ寄付

エコキャップ 推進書

主催：裾野市商工会
協賛：NPO法人エコキャップ推進協会

回収期間：2023年11月14日まで

回収料：17,390,652円

回収料は、回収したキャップの総重量に、約1kg500gが換算され、2人の子供の給食が買えます。

正しいキャップ運動のやりかたはこちらをご覧ください。

正しいキャップ運動のやりかたはこちらをご覧ください。

15. 社会貢献活動 (岩手地区)



CSR活動～岩手地区グリーン作戦を実施～



4月17日(月)金ケ崎町主催のクリーン作戦に29名が参加しました。
あいにくの雨模様でしたが、車両に十分注意しながらゴミを拾い、
今年も金ケ崎町へ貢献できました。



▲A班
▲B班

9:00 クリーン作戦開始



取組みを通じて貢献可能なSDGs



サービスさん
おがとございました!



車両の通称を知らせるため
ホイッスルを使用



地区別

秋のゴミ拾い in 岩手



エコキャップ発給証明書

発行日 令和5年10月31日

株式会社 設計 サービス 様へ

貴社から、PETボトルキャップを回収してエコキャップとして寄付されていることを確認いたしました。

品名	エコキャップ
数量	6,204 個
集積量	34.25 kg
発行金額	79 円
請求者(法人名)	株式会社 サービス
日付	令和5年10月31日

ご提供いただきましたPETボトルキャップの数量は、
【数量がゼロに近づくまで】にこの証明書が発行されます。
ご質問、お問い合わせは下記までご連絡ください。
発給の履歴、訂正はお客様よりご依頼ください。

株式会社 Power
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区大森1-1-1
TEL:022-26-8002 FAX:022-26-8003

皆様、分別へのご協力ありがとうございました。
今後も宜しくお願い致します。

ペットボトルキャップを寄付
「世界の子供にワクチンを日本委員会」

地域貢献活動

切手きっぺ活動

郵便物などに貼られていた切手封筒を
巻から集め11月に全員で切り方を行った。

営業部

一般清掃G

施設管理G



業務上中々参加出来ない部署も「切手きっぺ」
なら空き時間を活用し参加が可能!

全部で526枚(152g)の切手を切りました。

切手は公益社団法人 JOCES に送ります。

15. 社会貢献活動 (宮城地区)

1) ボランティア活動

「地元から信頼される企業」を目指し、社会貢献活動を推進。
前年までは親会社のボランティアを中心に参加していましたが
今年は宮城地区独自の活動に力を入れ、皆さんにご協力いただきました。

【23年度 宮城地区の活動内容】

◆親会社の活動に参加

- ・ 第7回いしのみき復興マラソンボランティア
- ・ 島田飴づくりボランティア
- ・ 広瀬川流域一斉清掃活動
- ・ 伊豆沼環境保全活動
- ・ 東日本大震災復興記念庭園の整備活動



◆宮城地区独自の活動

- ・ 文具ドライブ ・ きてっぺ (東富士地区合同) ・ フードドライブ (岩手地区合同) ・ 普通救命講習会



情報収集を活発化し、
新たなボランティアに参加。

◆大和町福祉協議会と連携し、地域との繋がりをもつ活動をスタート。



今後も活動継続し、地域の皆様に信頼される企業を目指します。

15. 社会貢献活動 (災害支援ボランティア)

中能登町災害支援 ボランティア報告

トヨタ自動車が、TDRS(トヨタ災害復旧支援)として行っている被災地支援にトヨタグループ連携としてEJサービスも協力

期間:2024年3月18日(月)~21日(木)

【ボランティアコーディネーターの支援内容】

Ⅲ. 活動内容

1) ローラー活動

- ・戸別訪問し、災害ボランティアセンターの紹介やニーズの有無をヒヤリング
- ・社協メンバーも含めた2チームに分かれ、19日間で約3,300世帯を訪問(約90世帯/チーム・日)



事前ルート確認



ペアで訪問



持参するチラシ

①ローラー活動

個別訪問し、ニーズの有無をヒヤリング

Ⅲ. 活動内容

2) 現地調査

- ・依頼者宅を訪問し、ボランティア活動による対応可否や必要人数を見極め
- ・依頼に応じられないケースには、住民への理解活動も実施



屋外調査



屋内調査



災害ボランティアセンターに戻った後、調査結果をシステムに入力

②現地調査

依頼者宅を訪問し、対応可否・必要人数見極め

Ⅲ. 活動内容

3) マッチング

- ・いつ、どこに、どういった人を、どれだけ派遣するか等を調整
- ・依頼案件数や依頼者の都合、ボランティアの人数等が日々刻々と変化する中、スタッフ同士の情報共有と見える化が大事



派遣先の検討



依頼案件ボード

③マッチング

日時・場所・派遣者と人数等を調整

能登半島地震

能登半島地震(のとはんとうしん)は、2024年(令和6年)1月16日16時10分に、日本の石川県の能登半島地下16 kmで発生した内陸地殻内地震。震央は鳳珠郡穴水町の北東42 kmの珠洲市内にあった。気象庁の発表によれば、この地震の気象庁マグニチュードは7.6であり、内陸部で発生する地震としては日本でも稀な大きさの地震であった。観測された最大震度は、石川県輪島市門前走出と同県羽咋郡志賀町香能で観測された震度7。気象庁による正式名称は「令和6年能登半島地震」。気象庁ホームページでの英称は「The 2024 Noto Peninsula Earthquake」。



今回支援先の中能登町



マッチング班に任命されながら現場での撤去作業でも活躍

活動を終えて

- ・災害支援ボランティアに参加させて頂き、普段の業務では経験できない体験が出来ました。
- ・トヨタの方も自ら志願し何度も来ての方が多く、またその方達との交流も同じ事を目標しやり遂げた達成感を共有する事が出来ました。
- ・自分も、また機会と縁された現場へのフォローがあれば参加したいと思いますが、これまで参加したくても手を上げられなかった方もいるかと思っておりますので、当たりまえに参加できる・送り出せる環境になるといいなと思っております。
- ・これまで行った1日ボランティアと違い、移動も併せて5日間の体験はこの年になっても成長させられた気がします。



体験からの学びを社内で展開



資格保持者の増員を検討して今後も継続して貢献活動に力をいれていきます。

16. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針の見直しの必要性 あり ・ **なし**
2. 実施体制の見直しの必要性 あり ・ **なし**
3. 環境経営目標、環境経営計画、活動内容、社会貢献活動などに対して
今後の活動への指示・要望・示唆など

環境統括者としてみなさんの活動を年間通して把握・理解することができました。各拠点、毎月のエコ委員会や全社環境改善会議で環境活動や教育、社会貢献活動の取組みを確認し報告・共有化をされており、それぞれの項目にしっかり計画を立てみなさんが責任をもって活動していることを確認することができました。

環境負荷低減計画に対しては社有車使用でのCO2排出低減が目標未達でした。これはコロナ禍が明け、直接お客様と交渉するなどの営業活動が活発になり車の使用頻度が多くなったのだと思われます。

相手の方と直接会っての打合せは重要だと思いますが、状況に応じてリモートによる打合せ、あるいは公共交通機関を使用するなど、今一度 目標達成に向け検討して頂きたいと思えます。

またペーパーレス化についてですが、ペーパーレス化は環境負荷低減はもちろん、業務の効率化や生産性向上などにもつながります。全体計画を立て、みんなで協力し合って、ぜひ成功するように進めて頂きたいと思えます。

今後もコミュニケーションを大切に様々なことにチャレンジして環境活動の更なるレベルアップを図って頂きたいと思えます。

2024年度も引き続きオールEJサービスで活動していきましょう。

2024年 5月30日

環境統括者 川口 興志